

利益を生み出す組織風土を創るための

T.B.L 研修

Teaching is the Best Learning
—教えることは最高の学習である—

組織の中に、学びあい、教えあう、
学習する組織風土を創ります！

教える実践を通じて、
部下・後輩を育てる力を高めます！

実践的なティーチングスキルや
コーチングスキルを体得します！



株式会社 ティ・エム・ディ・グループ

利益を生み出す組織風土を創ることが目標です！

企業は利益を生み出し、企業価値を高めてこそ社会的役割を果たすことができます。その原点はCS（顧客の満足）であり、CL（自社へのロイヤリティの高い顧客創り）でしょう。このような組織を実現するためには、他社に負けない質の高い人材、すなわち一騎当千のマネージャーやコアとなる人材が求められます。

人材は個々の能力も重要なファクターですが、その人を取り巻く環境が大きく影響します。人材の能力を最大限に引き出す環境づくりが大切です。学習する組織風土を創ることは欠かせません。

学習する組織風土を創るには T.B.L が最適です！

T.B.L 研修とは、Teaching is the Best Learning「教えることは最高の学習である」を理念として企画された研修プログラムです。「教える」というスキルは、方針の具体的提示、情報の提供、指示・命令、プレゼンテーション等の情報伝達の手段（伝える技術）として幅広く応用できるものです。

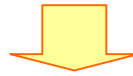
この「教える」技術は、訓練によって体験的に習得させることができます。教えるための準備と実施、その結果の振り返りという一連の過程は、本人が最も学習をすることにもなります。T.B.L はコア人材には欠かせない自己の能力開発手法です。T.B.L を社内に定着させることが、利益を生み出す組織に必要な人材を育てることになります。

T.B.L では、主に次の3つを学び、身に付けます！

- ①コアとなる人材が具現すべき役割・行動を認識させます。
経営方針のブレイクダウン、職場の問題解決および部下を育成することの大切さを再認識させ、実行力を養成します。
※会社の期待する人材像を御社経営幹部、ご担当責任者とのヒアリングおよび人事考課要素などから集約して具体的に提示します。
- ②部下指導の具体的な手法を修得させます。
教える技術の基本となる「講義法」を習得させ、実践を通してティーチングスキルの向上を図ります。また、コーチングスキルも含めて指導し、個別的アプローチおよび集団的アプローチについての対応能力を高めます。
- ③教える実践の体験を通じて、自ら学ぶことの重要性に気づかせます。
教えるために学ぶことの大切さを理解し、教えることで自分の能力を開発することができることに気づかせると共に、実践継続のモチベーションを高めます。

研修ステップとカリキュラム

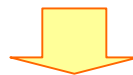
参加者へ T.B.L 研修の要領書（準備事項含む）配布



第一次研修（1日間）

- 「コア人材の役割・行動」
- 「T.B.L の主旨、進め方」
- 「職場における T.B.L 活用の場面」
- 「講義法のすすめ方・講義法以外への応用」
- 「講義テーマの選定・テーマの研究」
- 「レジュメ・レッスンプランの作成の仕方」
- 「レジュメ・レッスンプラン・資料の作成」
- 「ミニ講義実習」

御社の人事考課要素及び経営幹部或いは担当責任者とのヒアリングから、期待する役割・行動内容を提示します。



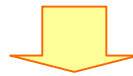
帰社後の課題～講義法の実習準備

- ①レジュメ
- ②レッスンプラン
- ③参考資料の作成

レジュメ、レッスンプラン、参考資料を講師へ提出

講師添削後、受講者へ返却

受講者は添削を参考に、レジュメ、レッスンプラン、参考資料を修正すると共に、個別リハーサルを行い、第二次研修へ参加



第二次研修（2日間）

1日目

- 「グループ内で講義実習・相互評価」
- 「評価に基づき、改善して再実習」

2日目

- 「受講者全員を対象に講義実習・相互評価」
- 「期待される人材となるための T.B.L の活用」
- 「これからのリーダーに求められる

プレゼンテーション力の重要性」

※1クラスの人数は24名を標準とします。

4グループ×6名

※[1日間研修]—(1ヶ月間)—[2日間研修]という標準実施形態及び研修料金は、御社のご都合に応じて相談の上確定させていただきます。

◆研修講師

株式会社 ティ・エム・ディ・グループ
経営コンサルタント

上床 訓弘

万代 純三

田中 浩



〒540-0033 大阪市中央区石町1丁目1番地1号

(天満橋千代田ビル2号館9階)

TEL. (06)6949-4151 FAX. (06)6949-4150

[e-mail](mailto:uetoko@d1.dion.ne.jp) uetoko@d1.dion.ne.jp